



# りあんと

第7号  
令和5年6月

りあんとは、フランス語で「人と人をつなげる」という意味があります。



## 目次

あいさつ……………	2
MR I 装置の紹介……………	3
専門職からのミニ講座…	3

ふたばのあゆみ……………	4
新規採用・異動者紹介…	4

# 院長あいさつ

## 新年度を迎えて

ふたば医療センター附属病院

院長 谷川 攻一



まずは新しいメンバーを紹介します。新納教男先生です。2023年1月に当院の科部長として着任しました。新納先生は島根県立中央病院などにおいて島根県の救急医療に尽力されてきました。私、木下副院長と合わせて常勤医3名となり、より充実した診療体制となりました。

さて、今年5月、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが2類相当から5類（季節性インフルエンザと同じ）へ変更になりました。これに伴い、すべての医療機関で新型コロナウイルス感染患者の診察が可能になりました。この3年間、私たちは新型コロナウイルスに翻弄されて来ましたが、同時に多くのことを学びました。飛沫予防にはマスクを着用すること、密閉空間では換気を良くすることが感染拡大の防止になります。一方、ワク

チン接種、変異によるウィルスの弱毒化、そして様々な抗ウイルス薬の登場によって重症化率は著しく低下しました。いよいよ「ウィズ・コロナ」の段階に入りました。ただし、引き続き、咳エチケットは必要です。これは新型コロナウイルスに限らず、すべての感染症に当てはまります。特に高齢の方、心臓、肺、腎臓の病気やがんをお持ちの方へのご配慮をお願いします。

当院は2023年度も24時間・365日体制で診療を行います。また、訪問看護・訪問リハ、出前講座も実施します。皆さんが少しでも安心して、安寧に過ごすことができるようお役に立てれば幸いです。なお、当院の外来、病棟に「ご意見箱」を配置していますので、ご意見、ご要望があれば遠慮なくお寄せください。よろしくお願いいたします。

# 看護部長あいさつ

ふたば医療センター附属病院

認定看護管理者 看護部長 梅宮 照子



地域の皆さんには、日頃より温かいご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

当院では、(公財)日本医療機能評価機構が実施している病院機能評価を受審し、認定基準(3rdG:Ver.2.0)に達成していることが認められ、令和5年1月4日付けで認定を受けました。病院機能評価とは、第三者機関である(公財)日本医療機能評価機構が、公平中立的立場から、その医療機関が質の高い医療サービスを患者さんに提供しているかどうか審査するものです。当院は開院して6年目を迎えます。開院当初より医療と患者サービスの向上に努めてまいりましたが、さ

らに良質な医療をめざし、患者さんが安全・安心な医療を受けられる環境を整備することを目的に受審いたしました。受審にあたり職員一丸となって体制整備・改善に努めました。現在も質改善のため、待合室と病棟のデイルームにご意見箱を設置しております。また、入院された患者さんやご家族向けに退院時アンケートも実施しております。皆さんから忌憚のないご意見をお聞かせいただき、今後に活かしていきたいと考えております。

皆さんが安心して当院を受診し、快適に入院生活が送れますよう職員一同、努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 2月1日からMRI | 検査を開始しました！！



MRIはMagnetic Resonance Imaging（磁気共鳴画像）の略であり、強い磁石と電波によって、身体の内部情報を画像化する検査です。

1回の検査で何種類もの画像を撮像します。検査時間は20～30分程度です。

MRI検査のメリットは、大きく以下の4つが挙げられます。

- ①CT検査とは異なり、放射線を使わないため、被ばくの心配はありません。
- ②CT検査ではわかりにくい急性脳梗塞や脳腫瘍を発見しやすいです。
- ③造影剤を使わなくても脳の血管を調べることができます。
- ④脊髄や椎間板などの軟部組織がCT検査に比べて見やすく、診断に有効です。

この他にも多くの疾患に対応できるMRI検査を活用しながら、双葉地域の救急医療の向上に努めてまいります。

私たちが  
撮影します！



## 専門職からの三二講座

今回は看護師から、地域の皆さんに知っていただきたい救急知識をご紹介します！！



### 知っておきたい救急知識

今回は『鼻出血』の対応についてご紹介します。

鼻出血は鼻の中の前の方に多くの血管が集まる部位があり、そこから出血することが鼻出血全体の90%と言われていています。残りの10%程度は鼻の奥のほうで生じた出血で、出血している部分が特定しにくく出血が止まりにくい場合もあります。

では、どのように対処すればよいのでしょうか。それは、鼻の入り口から1cmほどの部位をつまんで圧迫することです。

#### 具体的な対処方法

- ①「小鼻」を親指と人差し指でしっかり押さえます。最低でも15分※は押さえます。途中で指を離して確認すると、なかなか血が止まりません。
- ②圧迫するときは、顔を下に向けます。上を向くと血液がのどや口に流れ込み、窒息や吐き気をもよおす場合があります。口に流れてきた血液は吐き出して下さい。
- ③止血が確認できてからも、30分は経過を見てください。
- ④当日はアルコールの摂取や入浴は控えます。  
※15分の圧迫で、ほとんどは止血します。それでも止血しない場合は耳鼻科を受診してください。



# ふたばのあゆみ



ふたば医療センター附属病院  
@futaba\_fuzoku

こちらのQRコード  
より Twitter のホーム  
画面に飛べます！



公式Twitterではふたば医療センター附属病院の取り組みや出来事を報告しています。  
ふたば医療センター附属病院の取り組みをもっと知りたい方、どんな雰囲気の病院が知りたい方は  
ぜひご覧ください！フォローやリツイート、いいねも大歓迎です！

1月4日  
日本医療機能評価認定



3月16日  
避難訓練



5月1日  
花の植栽活動



## 新規採用・異動者紹介

今年の4月より看護部5名、栄養科1名、事務部2名の計8名が、ふたば医療センター附属病院に採用・異動となりました。それぞれの部署での役割を果たすべく精進してまいります。  
どうぞよろしくお願いいたします。



お願い

当院では患者サービスの向上を図るため、待ち時間の短縮に努めております。  
しかしながら、他の患者診療や検査時間、具合の悪い方を優先して診察させていただくなど、やむを得ぬ事情により診察をお待ちいただくことがあります。このような場合にはご不便をおかけすることとなりますが、ご理解願います。



### — 今回の表紙 —

当院に新たに導入されたMRI装置です。導入により診断の精度がさらに向上し、双葉地域の救急医療の発展に大きく貢献しています。

福島県ふたば医療センター附属病院

〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 817-1  
電話 0240-23-5090 / FAX 0240-23-5091  
ホームページ  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/futaba/>

